

開会セレモニー

10:00~10:20

総合司会 香川県医師会理事 林 正 作

開 会 香川県医師会副会長 廣 畑 衛

主催者挨拶 日本医師会長 植 松 治 雄

担当県挨拶 香川県医師会長 森 下 立 昭

来賓祝辞 香川県知事 真 鍋 武 紀

高松市長 増 田 昌 三

総合司会

香川県医師会 理事 林 正 作

ただ今から平成17年度全国医師会勤務医部会連絡協議会の開会式を行います。司会は香川県医師会の林が担当いたします。どうぞよろしく願いいたします。

香川県医師会副会長 廣畑衛より開会の辞を申し上げます。



開 会

香川県医師会 副会長 廣 畑 衛

おはようございます。本日の会は、昨年の熊本での協議会終了後から香川県医師会として鋭意準備を重ねてまいりました。このかがわ国際会議場は昨年春にオープンいたしました。この周辺をサンポート高松と称し、「青い国・四国」の玄関口として今後も整備されていく予定で、香川県医師会館もこの近くに建設されることが決まっております。ただ今回は、全国から予測以上に多数の先生方の参加を得まして、少し窮屈かとも思われます。隣接のホール棟61会議室におきまして、会場の状況を生中継しておりますので、そちらのほうも利用していただければ幸いかと思います。

さて、香川県は弘法大師の生誕地で、四国八十八箇所めぐりが有名です。阿波の国 徳島県を発心の道場、土佐の国 高知県を修行の道場、伊予の国 愛媛県を菩提の道場、讃岐の国 香川県は涅槃の道場と称されますが、弘法大師ゆかりの社寺が多くあり、所願成就する結願の地とされております。また、今年のNHKの大河ドラマ「義経」にあります、屋島・壇ノ浦合戦の源平の古戦場



など、多くの旧跡もございます。名物の讃岐うどん、夜の高松なども一緒にお楽しみいただければ幸いかと存じます。

それでは、ただ今から平成17年度全国医師会勤務医部会連絡協議会を開会いたします。

主催者挨拶

日本医師会 会長 植松 治 雄

おはようございます。日本医師会の植松でございます。平成17年度全国医師会勤務医部会連絡協議会の開催にあたりまして、主催者として一言ごあいさつを申し上げます。

本連絡協議会は、日本医師会が主催をいたしまして、各都道府県にお願いをして開催を担当していただき、本年度で26回目を迎えたわけでございます。これまで勤務医と開業医の大同団結をめざしまして、勤務医の組織・役割、生涯教育、機能分化と連携、さらには近年では女性医師の問題も取り上げるなど、多くの仕事をしてまいったと思っております。

現在、新聞紙上で見られますように、医療改革というものが進められつつあるわけでございます。本来あるべき医療改革というのは、いかに安心して質のいい医療を平等に国民に提供できるシステム・制度を作るかということでございますけれども、今進められておりますのは、全く財政主導でございます。市場原理に基づいた医療改革でございます。財務省あるいは厚生労働省から出されております改革案というものの中身も、いかに医療費を節減するか、抑制するか、またその負担を国民にどのような形で転嫁するかという点にかかっておるわけでございます。このことは、いまや日本の皆保険制度というものが崩壊に近づきつつあるのではないかという危機感、これは私のみならず、先生方もお持ちの問題であろうと思えます。

この難関を国民の健康のためにも、皆保険制度を守るためにも、これから私どもが闘うと申しましょうか、これを守るわけでございますけれども、この際、勤務医といわず、診療所開設の医師であるといわず、すべての者が国民の医療を守るということでは、プロフェッションとして同じ場にあるわけでございますので、小異を捨てて大同につくと申しますけれども、いまやそのようなことよりも医師としてどうあるべきかということと同じ場で論じ、行動しなければならぬと思っております。このことは、本年末の予算の編成までに多くの筋書きが決



まるわけで、もう2カ月余りしかございませんけれども、本日のこの連絡協議会も、そのためにも大いなる議論をしていただきながら、新たな結束の力というものを生み出していきたいと思っております。

後ほど、この問題にも触れてお話をさせていただきますけれども、この危機的な状況の中でこの協議会が開かれたということも一つの大きな、時期的にはいい機会であると、私は考えております。今後とも、先生方、ますます団結と健勝をお積みになりまして、この勤務医部会がさらに発展されますことを、またそのことを医師会の力とさせていただきますことを祈念いたしまして、ごあいさつとさせていただきます。本日、お集まりいただきまして、まことにありがとうございます。

担当県挨拶

香川県医師会 会長 森 下 立 昭

おはようございます。本日は全国各地からご参加をいただいております。昨夜というより今朝ですか、一雨降りましたが、昨日までは夏の続きというような感じでしたが、今日からは本格的秋という感じがしております。

さて現在、先ほど植松会長がおっしゃられましたように、社会保障制度、特に医療保険制度が変わろうとしております。これから来年の春の予算を控えて、我々は集中して考えていかねばならない問題であろうかと思いますが、会長がすでにお話しされましたので、その件は触れません。

さて、勤務医が医師会員であるという認識を深め、この機会に、特に開業医・勤務医の枠を超えて一致団結して、共通の理念と目的意識を持って医師会活動に参加していく必要があるのではなかろうかと考えております。特に勤務医の偏在、過重労働をもたらしている原因等を考えますに、財政主導の医療政策にありまして、とりもなおさず自分自身の問題であることに強く関心を持つべきではなかろうかと考えております。

本日のこの協議会が実り多きものになりますように期待して、簡単ですがあいさつに代えさせていただきます。今日はどうもありがとうございました。



来賓祝辞

香川県知事 真鍋 武 紀

皆様、おはようございます。ご紹介をいただきました香川県知事の真鍋でございます。平成17年度の全国医師会勤務医部会連絡協議会が、ここ香川県で、全国各地からこのように大勢の先生方をお迎えして盛大に開催されますことを、まづもってお慶びを申し上げます。本当におめでとうございます。また、全国各地からお越しの皆様方を、香川県民を代表いたしまして、心から歓迎を申し上げます。

日本医師会の植松会長様、香川県医師会の森下会長様をはじめ、本日ご参会の先生方には、地域医療や介護保険など多岐にわたる分野で、住民の健康の保持・増進に多大のご尽力をいただいておりますことに、心から敬意を表し、感謝申し上げます。

さて、少子高齢化が急速に進行しております、だれもが健康で生きがいをもって、安心して暮らせる社会の実現が重要な課題になっております。このため、医療と健康・福祉の連携による総合的なサービスの提供が求められております。香川県では、医師会の皆様方のご協力をいただきながら、健康の保持・増進から疾病の予防・診断・治療・リハビリテーションまで、総合的な保健・医療サービスを提供する体制の整備に取り組んでいるところでございます。中でも、ITを活用いたしました全国初の全県的な医療連携システム「香川遠隔医療ネットワーク」の拡充や、へき地医療の充実・強化などに努めているところでございます。また、今年から新たに、夜間における子どもの急病について、専門医が電話で相談・助言する体制を整備したところでございます。さらに7月からは、従来の救急医療情報システムを再構築いたしまして、全国で初めて宿日直医情報の提供や、救急隊への携帯端末の配置を行うなど、災害時にも対応できる救急医療の確保に積極的に取り組んでいるところでございます。

地域医療の中核を担う皆様方が一同に会し、医療を取り巻く諸課題について積極的に意見交換されますとともに、交流を深められますことはまことに意義深いことだ



と存じます。どうか実り多い成果を収められまして、今後とも地域医療の充実に一層のご尽力を賜りますようお願いを申し上げます。

皆様方には、せっかくこの香川の地にお越しいただいた機会でございますので、今年のNHK大河ドラマ「義経」の舞台になりました源平の古戦場の屋島でありますとか、あるいは栗林公園。実はこの栗林公園は、この週末、10月29日から全国公開をされます、三島由紀夫さんの『春の雪』のロケ地です。この三島文学はなかなか文章が華麗で、映画化が難しいと言われていたのですが、あのセカチュー、「世界の中心で、愛をさけぶ」を監督されました行定監督が映画化に挑戦をいたしまして、竹内結子さんと妻夫木聡さんが主演で、映画化をされまして、これが10月の29日、今週の末から全国公開される予定でございます。栗林公園と、この近くに玉藻城の被雲閣という建物がございまして、ここが舞台になってロケが行われておりますので、皆様方もぜひご覧いただければ大変ありがたいと思います。

また、香川県には今年の春、坂出市に東山魁夷せとうち美術館というものが誕生いたしました。東山魁夷先生のご先祖が香川県の櫃石島という、今、瀬戸大橋の橋げたになっておる島の出身でございます、そのご縁で、版画等をご寄贈いただき、せとうち美術館というものを

造りまして、予想を上回る人に来館をしていただいております。実は、現在、秋の特別展をやっております。この東山魁夷先生が風景画家としてスタートするきっかけとなったと言われております、日展の特賞を受賞された作品などを、国立近代美術館から借り受けて展示をいたしております。大変ロケーションのいい、瀬戸大橋あるいは島々が見えるきれいな所でございます。もしお時間がありましたら、のぞいていただければ大変ありがたいと思います。

どうか皆様方には、この香川の秋を満喫していただき、また本場の讃岐うどんや瀬戸内海の魚料理などをご賞味いただいております。大変幸いです。

それでは、全国医師会勤務医部会のますますのご発展と、本日ご参会の皆様方のご健勝とご活躍を心からお祈りをいたしまして、私のごあいさつにさせていただきます。本日はまことにありがとうございます。

来賓祝辞

高松市長 増田昌三

ご紹介を賜りました当地高松市長 増田昌三でございます。秋たけなわのよい季節を迎えましたが、本日、平成17年度全国医師会勤務医部会連絡協議会が、関係皆様方、このように大勢の方のご参集の下、盛大にここ瀬戸の都高松において開催されますことを心からお慶び申し上げます。全国各地からお越しいただきました皆様方を、心から歓迎申し上げるしだいであります。皆様方には、医療現場の第一線におきまして、私たちの命と健康を守るため、日夜多大なご尽力を賜っておりますことに、深く敬意と感謝の意を表するしだいであります。

さて、近年の出生率の低下等により、2025年には4人に1人が高齢者となる超高齢化社会を迎えることが予測されております。本市におきましても、急速に進展する少子高齢化社会を見据え、市民が健康で幸せな生活を送れるよう健康づくりの推進プラン「健やか高松21」を策定し、乳幼児期から一貫した健康管理や健康寿命の延伸、生活の質の向上など、生涯にわたる健康づくりのための施策を推進するなど、保健・医療・福祉連携の下、笑顔あふれる、人に優しい街、高松の実現に取り組んでおります。

このような中、本日、全国関係の皆様方が一堂に会され、医学・医術の振興と国民の健康増進に取り組まれますことはまことに意義深く、これからの社会にふさわしい福祉のまちづくりに大きく寄与いただけるものと存じておりまして、本協議会のご成功を心からご期待申し上げますとともに、どうか皆様方におかれましては、地域の医療・福祉の増進のため今後一層のご尽力を賜りますようお願いを申し上げます。

また、せっかくの機会でございますので観光案内を若干させていただきますが、先ほどもお話がありましたように、ここサンポート高松は昨年の5月にグランドオープンしたばかりの、本市のにぎわいと交流の拠点でございます。沖合に飛び出ております突堤の先には、世界初にして唯一のガラスで出来、赤い灯台本体が発光するという、珍しい灯台があります。歩いて10分ほどで行けま



すので、どうぞ一度ご散策いただければと思います。その他すぐ隣には、海水を引き込んだ水城として有名な玉藻公園、玉藻城跡もございます。あと、屋島であるとか、栗林公園とか、いろいろと観光地がございますので、どうか秋のひと時、讃岐路をごゆっくり散策いただければ幸いと存じます。

終りになりましたが、全国医師会勤務医部会のますますのご発展とご参会の皆様方のご健勝・ご活躍を心から祈念申し上げます、私の歓迎のごあいさつとさせていただきます。本日はまことにおめでとうございます。